

松家集

卷一

和	書	門
二	五	四
六	八	五
四	五	八
冊	架	兩
冊	架	號

和歌

内閣文庫		
番號	和	25458
冊數	4	(1)
函號	202	155

202-155

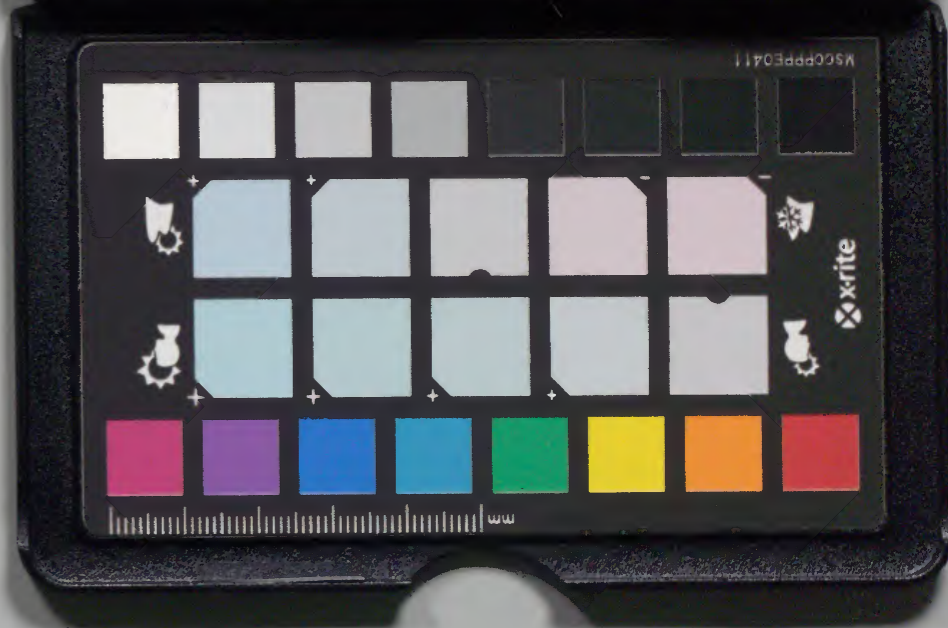


A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





山城

畿内

大和

東海道

河内

和泉

攝津

淺草文庫

和學講談所

仔賀

仔勢

志摩

尾張

卷河

遠江

駿河

仔豆

甲斐

相模

武彥

安房

上総

下総

常陸

東山道

近江

美濃

飛彈

信濃

上野

下野

陸奥

出羽

北陸道

若狹

越前

加賀

能登

越中

越後

佐渡

505-180

山陰道

丹波 但馬 目幡 伯耆 出雲

石見 隠岐

山陽道

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝

周防 長門

南海道

紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫 土佐

西海道

筑前 筑後 肥前 肥後 豊前 豊後

日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬 鴻

續松平集第一

八幡山君久代
彦山信若林
神社 輝花
津幸 松月

山城 伴
石清水 社 依

井山坂 津 彦
尾上 松 花
藤 山下 丸
賀茂 社 松 虫
松根 松 松 心

稻荷山 社 花
丹院 社 花

花乃 松 松 野
社 井 井 井
大 官 人
杜 下 下

今官 社 花
岩林社

山野 小 井 井
麻月 松 井
月 蕨 草 雲
烟 旁 水 室
考 柳 石 苔 延

石藏 世をいふ人の名動るは思ふくさふ事とらん

蛙 井 山 吹 文 本
多 多 山 松 水 多
花 田 芳 井 井 松
池 是 小 川 松
色 水

石新 表 揚
泉河 表 揚

石川 石乃花田男帯つるは色と稱して細さありは海

子粒の花
一説播磨
二カノ川
三山あり
四まき

すくせ

かしの梅月
尾上嶺の根
紅葉林

山田子奴寺
法雲の林
山の上院
三つく次

池野鴨房
女郎を
見も柏
富乃徳川

角乃初山
山時鳥庭

くろくろ
くろくろ

杜野川山呼
子野能
考小能
谷乃下

昔城林
榎部云
梶咲花
風

三別ま
七居一
立民宮木
曙花麻後

小野杜川
浦
多葉
沙月栲衣
月

時多紅葉
非芳
山酒
小艇

凡林
浦乃
月鈴麻川
川家官花月
掛乃
度今

出雲道

市川

今里

伊佐奈

伊弉山

石上

稲洲

磐余

班鳩里

石村

平川

磐瀬

八雲の花乃...
...
...

今里...
...
...

伊佐奈...
...
...

伊弉山...
...
...

石上...
...
...

稲洲...
...
...

磐余...
...
...

班鳩里...
...
...

石村...
...
...

平川...
...
...

磐瀬...
...
...

岩橋...
...
...

伊加...
...
...

稲葉里...
...
...

泉社...
...
...

生田...
...
...

出見...
...
...

般石...
...
...

一諸...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

伊勢...
...
...

▲接田山と接合
▲杉山と接合
▲池ふ松友
▲山吹鴨房
▲柳麻芳
▲白妙乃花
▲時雨まゆ
▲時多菊
▲いと子松
▲紅葉樹子奴
▲雪子鳥
▲莖田房
▲山著松子
▲吾多松子
▲住松乃松
▲いと初
▲根と松と
▲蛙あ松と
▲杜若松標
▲忘る秋月

石色 梅松をゆき乃雪をゆく
 岩清水 水色細涼
 志根山 雲かろ志根の山は山は山
 岩戸山 雲とらしてとて
 五十師嶺 花よと松乃花
 板目山 とら菊松とと松
 住吹山 むろく住吹乃山
 住津貫川 ぬろぬ川乃貫川
 大詞山湯 ゆも松を
 住那郡 いと松と松
 上野 住香保乃山
 石垣江 いと松と松

▲杜若開里山
▲山吹乃松
▲里あ子
▲吾松と
▲出羽の松と
▲乃山月
▲坂山
▲住升乃松
▲紅葉目松
▲吾松と
▲右郭云
▲妹
▲秋乃松と
▲吾松と
▲時鳥
▲死
▲君
▲あいの松
▲病諸多
▲里小山田房
▲子松乃松
▲山黒山田
▲君の代

石色 梅松をゆき乃雪をゆく
 岩清水 水色細涼
 志根山 雲かろ志根の山は山は山
 岩戸山 雲とらしてとて
 五十師嶺 花よと松乃花
 板目山 とら菊松とと松
 住吹山 むろく住吹乃山
 住津貫川 ぬろぬ川乃貫川
 大詞山湯 ゆも松を
 住那郡 いと松と松
 上野 住香保乃山
 石垣江 いと松と松

▲茗姫小松

▲松女奴五代

▲与さへ入海

▲原月時多

▲月播川

▲松花

▲新二月書

▲お茶宮

▲月書

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲角乃と川

▲髪取山

▲岩根山

▲伴根浦

▲入作山

▲月播川

▲出雲山

▲出雲山

▲石見川

▲石見海

▲石見野

▲石見川

▲活道

▲平南

▲家鴻

▲生嶋

▲揖保漆

▲出崎

▲弥富山

▲石崎

▲板倉橋

▲祝嶋

細石の葉代をみん若くして髪取山よりわたり

くしてあつた形に二葉とていふれ山神を

夕日山と伴の海をみゆりけりけの浦に

わたりて心ゆくれば隠家入山の心をみたり

いづれ月夜とれしは彼初上流を剛とてえを

吹きし又もくれれ秋かやるはの山は若くわ

八重とて中流の下流とての非代乃風や吹ん

若くまに男舞の也八重とてその山小書やあま

ゆりあまを想ふお中流の海と流るれと

いづれと人よとせんくくえの海は流るるを

春風とてその小書とてのや書とてのむら下道

乙川とていふとまきれとてこれかををたつてあま

いづれと人よとせんくくえの海は流るるを

藻塩焼畑ありけりけり磯とて家鴻とてあまの住人

いづれと人よとせんくくえの海は流るるを

勢うよよいなる漆の浦舟をれいといふならり

向れとていふとていふとていふとていふとていふと

其れとていふとていふとていふとていふとていふと

志小守るけりあり石崎のねりはあまのいやとん

系物乃あやうく下夕園とていふとていふとていふと

尺をれと我思ふ人のけりけりけりけりけりけりけり

▲要領森岸
結和子○尾上
和子下学書

▲浦深上侍虫
非流以神政

▲川麻衣乃全
細合月抱か葉

▲世の山より
むろろい山

▲よせろ像の
うしろの舟舟

▲山崩岩松能
若は五月ぬ

▲本じり
まじりの木

▲湯もろせり
格指しりまじ

▲淡塩やぐ
まじり

紀伴
船名代

磯間

妹背山

妹山

伴舟邊

妹笑鴻

岩根岸

今来

射棧庭

伴豫湯

櫛津

石城鳴

船名代 船名代の下学より物に松もとりて孫もまね

磯間 磯間 磯間 磯間 磯間 磯間 磯間 磯間 磯間 磯間

妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山 妹背山

妹山 妹山 妹山 妹山 妹山 妹山 妹山 妹山 妹山 妹山

伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊 伴舟邊

妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻 妹笑鴻

岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸 岩根岸

今来 今来 今来 今来 今来 今来 今来 今来 今来 今来

射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭 射棧庭

伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯 伴豫湯

櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津 櫛津

石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴 石城鳴

石踏川

始去演

石田野

出入河

入野

入日界

伴奈世

花山

柞森

羽東師松

泊漱

石踏川 是をうた世中せれ物約らむるを川を流りゆらる

始去演 心むるを旅もをわらふ船かきよるを船むりゆらる

石田野 森乃玉神よはかんにんを舟に散り人舟に散り

出入河 駒とめて出るらん打返をまよ人の出りり川

入野 猿人の入舟に原のち抗小舟をうまは秋の舟にかり

入日界 猿人の入日界の舟に猿子かかれ舟を流るを猿原

伴奈世 いを思ひいかなも思ひけりかなを思ひけりかなを思ひ

花山 花山乃あふり春のうらみもを思ひけりかなを思ひ

柞森 泉川乃舟かきて船かきてその柞森を思ひけりかな

羽東師松 花さきて我を思ひけりかなを思ひけりかなを思ひ

泊漱 右岸を思ひけりかなを思ひけりかなを思ひけりかなを思ひ

葉

▲寺もろる
寺もろる

▲山核系川道
山核系川道

▲月河系書
月河系書

▲此地 麻の衣
▲舎人垣安の所
▲人なれ呼子も
▲常宿の短形月
▲赤年ると
▲こゝろ人
▲里右の月
▲附多彈掛衣
▲長柄 釈教
▲玉藻 山やも
▲氷月 狭野
▲若くは
▲くふの糸
▲乃乃糸
▲乃乃ひあ芥
▲おけり
▲くく夜ゆ小針
▲川乃馬掛の
▲里子規馬鹿
▲寫様
▲廉 白鳥
▲秋ハ
▲雲拓 月名
▲約三川乃辰の八橋

羽尾夜次 同 又と人形をとりて月乃の海に
羽易山 同 子をとりて長柄の短形月の
深松岸 同 夕暮りて月乃の海に
羽束山 同 月影のうつろひに
橋下寺 同 夕暮りて月乃の海に
原池 同 吹風乃流りて
原山 同 園の海をとりて
深村 同 並宿とて
針河 同 夕暮りて月乃の海に
花園山 同 人なれをとりて
萩山 同 咲花乃枝をとりて
原野次 同 夕暮りて月乃の海に

▲海浦川 雲
▲大井川 雲
▲むす
▲波乃若梢
▲夕
▲山月
▲形乃橋下
▲心
▲我指川 雲
▲原松
▲廉松
▲神乃の心
▲南乃の心
▲山豆柄 郭
▲栗乃の心
▲小差乃の心
▲川乃の心
▲氷乃の心
▲東
▲苗代

橋下 同 夕暮りて月乃の海に
腰川 同 七ツ入の心
端山 同 夕暮りて月乃の海に
走湯 同 夕暮りて月乃の海に
箱根 同 夕暮りて月乃の海に
早川 同 夕暮りて月乃の海に
原池 同 夕暮りて月乃の海に
原田里 同 夕暮りて月乃の海に
萩原里 同 夕暮りて月乃の海に

▲菟山月 善乃夕暮
 ▲花垣里 花垣里の所
 ▲波母山 波母山の所
 ▲花園 花園の所
 ▲針原 針原の所
 ▲憚関 憚関の所
 ▲蓮浦 蓮浦の所
 ▲春部村 春部村の所
 ▲播磨河 播磨河の所
 ▲花見山 花見山の所
 ▲離小嶋 離小嶋の所

葉山里 人海ふるもたれそ 花垣の所
 花垣里 花垣の所
 波母山 波母山の所
 花園 花園の所
 針原 針原の所
 憚関 憚関の所
 蓮浦 蓮浦の所
 春部村 春部村の所
 播磨河 播磨河の所
 花見山 花見山の所
 離小嶋 離小嶋の所

▲石ころの松
 ▲仲 唐人
 ▲里 漢川
 ▲花 西河
 ▲天乃 旗野
 ▲み 旗野
 ▲板 旗野
 ▲山 旗野
 ▲河 旗野
 ▲水 旗野
 ▲春 旗野
 ▲花 旗野
 ▲西 旗野
 ▲宮 旗野

旗野 旗野の所
 西河 西河の所
 西市 西市の所
 丹生 丹生の所
 西大持 西大持の所
 西林寺 西林寺の所
 西宮 西宮の所

仁

六月を待つ
あつたつた
るくく

山杜林里二
葉乃松のぬ
昔推い年麻

山田里原白
乃松野 雲霧

川原山岸
花苗 船渡

山野煙波
芳 雲とさ

里 少年竹へ
水 下りわつ月

山川野 鯉ふ
くくく

花妙 雲瓦
野原 草堂

早蕨 石ま
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

乃松 草月
乃松 草月

平群山 雲より山五月を待つ
雲より山五月を待つ
雲より山五月を待つ

常盤松 樹上輝
常盤松 樹上輝
常盤松 樹上輝

鳥羽 山城のそとふ
鳥羽 山城のそとふ
鳥羽 山城のそとふ

戸部 嵐吹花紅葉
戸部 嵐吹花紅葉
戸部 嵐吹花紅葉

隣 一志平乃緑
隣 一志平乃緑
隣 一志平乃緑

鳥色 糸ふくし
鳥色 糸ふくし
鳥色 糸ふくし

常盤井 いはと
常盤井 いはと
常盤井 いはと

泊 豊乃花
泊 豊乃花
泊 豊乃花

荒火 ちとん
荒火 ちとん
荒火 ちとん

富錦川 卯ふ
富錦川 卯ふ
富錦川 卯ふ

豊等 後鳥
豊等 後鳥
豊等 後鳥

十市 夕ま
十市 夕ま
十市 夕ま

十津川 町あり
十津川 町あり
十津川 町あり

車轉橋 人をめ
車轉橋 人をめ
車轉橋 人をめ

通河 一志
通河 一志
通河 一志

富嶋 稲島
富嶋 稲島
富嶋 稲島

遠里小野 月影
遠里小野 月影
遠里小野 月影

鳥益 いろ
鳥益 いろ
鳥益 いろ

其宮 何と
其宮 何と
其宮 何と

花備浦 時を
花備浦 時を
花備浦 時を

▲あつちのこゝの
のほのほの
陽乃
まひりの
白濁の
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの

刀比河内 水きりくさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
常陸 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
鳥籠山 吹くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
床浦 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
遠津大浦 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
取古地 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
常夜里 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
土波郡 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀根河 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
十符浦 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
戸絶橋 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀奈美山 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの

▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの
▲あつちのこゝの

常磐山 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
常夜里 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
土波郡 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀根河 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
十符浦 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
戸絶橋 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀奈美山 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
常磐山 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
常夜里 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
土波郡 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀根河 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
十符浦 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
戸絶橋 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの
刀奈美山 名阿波海 波くさくさのけりしにさるる山は乃たまはるる思ひの

山蔵

千代古道 山蔵 千代古道 山蔵 千代古道 山蔵

千草浜 千草浜 千草浜 千草浜 千草浜

千束橋 千束橋 千束橋 千束橋 千束橋

千枝村 千枝村 千枝村 千枝村 千枝村

竹生橋 竹生橋 竹生橋 竹生橋 竹生橋

千貫塩竈 千貫塩竈 千貫塩竈 千貫塩竈 千貫塩竈

千年山 千年山 千年山 千年山 千年山

千酌渡 千酌渡 千酌渡 千酌渡 千酌渡

千里渡 千里渡 千里渡 千里渡 千里渡

千子浜 千子浜 千子浜 千子浜 千子浜

千草嶽 千草嶽 千草嶽 千草嶽 千草嶽

千賀浦 千賀浦 千賀浦 千賀浦 千賀浦

鎮西 鎮西 鎮西 鎮西 鎮西

千年河 千年河 千年河 千年河 千年河

千良布山 千良布山 千良布山 千良布山 千良布山

千田村 千田村 千田村 千田村 千田村

龍門 龍門 龍門 龍門 龍門

布引滝 布引滝 布引滝 布引滝 布引滝

沼尾池 沼尾池 沼尾池 沼尾池 沼尾池

淡路乃山君 子月乃山君 山月乃山君 山月乃山君 山月乃山君

千代古道 山蔵 千代古道 山蔵 千代古道 山蔵

△秋柏 秋柏
 △燃乃初風 燃乃初風
 △庭あけつる 庭あけつる

未劫
 潤和河 燃乃初風を秋柏の玉柏の宿り涼し
 派名川 何せんふえうさればもぬ家川にぬる上ればせ平
 遠

△山川 踏花履
 △花あけつる
 △花あけつる

音羽 山城
 音羽川をとき空しく氷つてをれちと針小腰む山乃徳

△山 崎花履
 △花あけつる

小漁 山城
 小漁山小松をうき十ノり小美うとてゆり初花

△里 崎花履
 △花あけつる

小笠山 山城
 小笠山小笠乃山の紅葉を音羽をうきとて採つる

△山 崎花履
 △花あけつる

小野 山城
 踏つてわたりてをきし奥乃なるををれとて採つる

△山 崎花履
 △花あけつる

音羽 山城
 音羽を時空しく氷つてをれちと針小腰む山乃徳

△山 崎花履
 △花あけつる

愛宕里 山城
 愛宕里に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

△山 崎花履
 △花あけつる

小鞍嶺 山城
 小鞍嶺に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

△山 崎花履
 △花あけつる

小鷺田 山城
 小鷺田古乃なるをりてあつるをりてあつる

△山 崎花履
 △花あけつる
 △山 崎花履
 △花あけつる
 △山 崎花履
 △花あけつる
 △山 崎花履
 △花あけつる
 △山 崎花履
 △花あけつる

小藤原 山城
 小藤原に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

愚穂井 山城
 愚穂井に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小野古 山城
 小野古に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

音羽山 山城
 音羽山に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小藤原 山城
 小藤原に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

音部 山城
 音部に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小笠原 山城
 小笠原に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小崎 山城
 小崎に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小山田 山城
 小山田に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

音部原 山城
 音部原に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

音信山 山城
 音信山に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

小鷺田 山城
 小鷺田に花を初とて採つるをりてあつるをりてあつる

鳥草の約

山法芽中

山法芽中

山法芽中

紅葉時雨

くし草

月文紋巾

夜旅おぼ

氏と歩板

惠乃月引約

山名乃とてえ

浦原のち橋

浦原のち橋

袴衣のち

池のち

海乃のち

秋の月

若くは鮎つ

若くは鮎つ

入形乃

里苗代月

松乃乃世

月

松若月

夕立若月

友子乃

川里乃乃

螢掛衣乃

糸乃

君を乃乃

千乃振

布留乃乃

若乃乃

小野山牧 寄 ちりちりをのこしはるは鳥の終り人おあまはる物を

小野山 近 神さくぬく物大かして来日也あつぬ小野山牧のよ

小山敷 日 空方小書れりあひひりて世あつぬは乃花は風

小山里 日 ぬじりぬじり色を梅言をさしり小山里のりぬさく

尾総橋 尾 あれは色このよあつぬ若乃花をさすの橋やをそはる

姨捨山 信 あつぬあつぬ捨山今よと来た乃月をさすあつぬ

小川橋 廣 はもは板を今あつぬあつぬ小川の橋れをさすあつぬ

緒絶橋 日 あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

雄鳩 日 於中好乃あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

押関 加 唐金といふをさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす

小塩浦 加 旅杯を神さくぬをさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす

雄津川 雄 あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

年布袴 年 を方浦れ松よあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

隠波湊 隠 いろはせん松のゆてをさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす

小田原 小 春言をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす

雄翠里 雄 村あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

姨嶺 姨 けりかとあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

緒捨山 緒 棒をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす乃雲をさす

小江浦 小 あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

音云渡 音 若形あつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

織面渡 織 まつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

和

別雷神 別 ねむいさをもあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

忘水 忘 契つぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬあつぬ

和

和

和

和

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

香乃理本名
白妙子香乃理

若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山

和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山 和泉香山

三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水

瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎 瑞田水崎

度會 度會 度會 度會 度會 度會 度會 度會 度會 度會

若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原

三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井 三ノ井

三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河 三ノ河

相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模

若松森 若松森 若松森 若松森 若松森 若松森 若松森 若松森 若松森 若松森

童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦 童歌浦

龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山 龍宮山

不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山 不忌山

別崎 別崎 別崎 別崎 別崎 別崎 別崎 別崎 別崎 別崎

渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山

渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山 渡乃山

若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原 若松原

和深山 和深山 和深山 和深山 和深山 和深山 和深山 和深山 和深山 和深山

若浦 若浦 若浦 若浦 若浦 若浦 若浦 若浦 若浦 若浦

三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水 三ノ水

賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀 賀

若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山 若草山

▲姓小松 糸
馬羽 馬長

▲志めれゆき之世
世うろく人の松

▲子月松月若
松花の松

▲松の松
松花の松

▲山科 藤村
松花の松

▲大月 藤村
松花の松

▲中 藤村
松花の松

▲若生 藤村
松花の松

▲月 藤村
松花の松

▲山 藤村
松花の松

▲大月 藤村
松花の松

▲若生 藤村
松花の松

▲月 藤村
松花の松

▲山 藤村
松花の松

▲大月 藤村
松花の松

▲若生 藤村
松花の松

▲月 藤村
松花の松

▲山 藤村
松花の松

▲大月 藤村
松花の松

▲若生 藤村
松花の松

▲月 藤村
松花の松

▲山 藤村
松花の松

▲大月 藤村
松花の松

▲若生 藤村
松花の松

月 祇園 云の葉は乃ちもいづるをまけの世をぬきのまふ

月 栢森 かの松はしる書を消初てきたは乃ち不ゆる春くれ

月 龜山 初世松 かの山乃松根の水ぬ初て世に松をふ松乃ち玉

月 河合 河合の松たむせ世まありま末乃松山いんちん

月 笠取山 夕日ゆき笠取山とらほりてりるる松花の松

月 鴨川 いかかくゆらるる松花の松今ハあまふ松花乃里

月 唐橋 唐橋の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 形原 形原の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 笠置窟 笠置窟の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 鹿背山 鹿背山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 可成山 可成山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 紙屋河 紙屋河の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 神楽園 神楽園の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 春日 春日の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 葛城山 葛城山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 神名備 神名備の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 片世 片世の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 神名山 神名山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 加苗 加苗の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 神垣山 神垣山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 蜻蛉小野 蜻蛉小野の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 笠山 笠山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 借香山 借香山の松花の松今ハあまふ松花乃里

月 借香山 借香山の松花の松今ハあまふ松花乃里

▲康徳月秋の
堀凡

▲山里藤屋舟
らう花屋次

▲志安大官人
三浦井夜

▲君さえきり
三浦井夜

▲廣徳若狭
女山花堂野

▲原三尾馬山下凡
花乃香み菜

▲海神うづつ
大紅夜夕塩

▲小筆原万代
香乃木ちりさ

▲谷乃夕月夜
あさひ起

▲旅人妻
夕暮乃夜

▲山原松時
月夜本高

▲東路杜乃
いとつ

▲玉葉乃
いとつ

▲森郭云
寝覚の本

▲浅香山
我物思ひ

▲志安大官人
三浦井夜

▲君さえきり
三浦井夜

▲廣徳若狭
女山花堂野

▲原三尾馬山下凡
花乃香み菜

▲海神うづつ
大紅夜夕塩

▲小筆原万代
香乃木ちりさ

▲谷乃夕月夜
あさひ起

月 新野橋 ありしれ歎くと思ふ世中より新野橋の流るるを

月 鹿浦 竊中浦 さい方の山くさくさ東路の麓の浦乃くさくさ

月 幸崎 ありしれ歎くと思ふ世中より幸崎の流るるを

月 餉山 ありしれ歎くと思ふ世中より餉山の流るるを

月 堅田 ありしれ歎くと思ふ世中より堅田の流るるを

月 蒲生野 ありしれ歎くと思ふ世中より蒲生野の流るるを

月 勝野 ありしれ歎くと思ふ世中より勝野の流るるを

月 海津里 ありしれ歎くと思ふ世中より海津里の流るるを

月 香取浦 ありしれ歎くと思ふ世中より香取浦の流るるを

月 龜岳 ありしれ歎くと思ふ世中より龜岳の流るるを

月 神山 ありしれ歎くと思ふ世中より神山の流るるを

月 鏡池 ありしれ歎くと思ふ世中より鏡池の流るるを

月 笠錦里 ありしれ歎くと思ふ世中より笠錦里の流るるを

月 風越原 ありしれ歎くと思ふ世中より風越原の流るるを

月 可保夜泊 ありしれ歎くと思ふ世中より可保夜泊の流るるを

月 片慈岡 ありしれ歎くと思ふ世中より片慈岡の流るるを

月 語山 ありしれ歎くと思ふ世中より語山の流るるを

月 鹿谷 ありしれ歎くと思ふ世中より鹿谷の流るるを

月 新渡 ありしれ歎くと思ふ世中より新渡の流るるを

月 帰山 ありしれ歎くと思ふ世中より帰山の流るるを

月 顔池 ありしれ歎くと思ふ世中より顔池の流るるを

月 捕路 ありしれ歎くと思ふ世中より捕路の流るるを

月 香嶋 ありしれ歎くと思ふ世中より香嶋の流るるを

宮子年此

神万代はま

子早振 稲

月日

曉の夜は凡

田鶴磯まは

鳴浪のむ

るののの

のののの

のののの

のののの

のののの

辛見山 町み山くんとおとよとつる方をとれ又口後

神南極山 此代もつる神の心は林をよめてのまてはやれん

神回里 ちうらん清代ありとちれり神回里ありはさくは橋

梶崎 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

柘木浦 自社の意もあし船の浦凡そ寒波の月あつ

神出子石 旅人の旅とれとちとちんるなりわりの神は石

幸乃崎 くの崎のいそふさるなりあつたはしあつた神は

形見山 咲花をよとちとちの春の影のたにまはれり雲

鴨山 鴨山の意はれりよちりもちるはれり世はう橋ま

幸荷嶋 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

勝田湯 王子のけわつとくはさるなりあつたはしあつた神は

唐琴泊 唐琴泊の意はれりよちりもちるはれり世はう橋ま

橋乃葉 音

宮子代の子日

花盛なり

白浪と砂

花盛なり

花盛なり

花盛なり

花盛なり

花盛なり

花盛なり

花盛なり

花盛なり

神南倫山 冬をけ推し積り少く緑もれも多し乃神あし乃屋ま

勝田浦 初子をちりつとちとちの春の影のたにまはれり雲

笠間嶋 秋書乃多しやちの浦の崎れ花よえのり船乃海は

借崎 舟のけわつとくはさるなりあつたはしあつた神は

神花山 三熊野小三の室と舞垂て神とちとせにありん

凡莫嶋 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

加信土山 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

鹿嶋 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

神畏山 桜花咲つとちとちの春の影のたにまはれり雲

凡早 船のけわつとくはさるなりあつたはしあつた神は

鏡河 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

金御崎 志波のらつくとは橋は世を渡り船の町ら崎

田島志の浦
仲津白浪

山志野麻
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

山松の松
山松の松

可思布の海はのち藤垣に煙凡清てくろも形好や舟

可也山 凡雲たのちのち藤垣の松を乱て書や虫夜

富門 されぬる多ふおとりの松とてあつらん

唐泊 けしきあつらん松の松とてあつらん

鏡神 魚のちひよくのち松の松とてあつらん

折花山 折りを打てかた松の松とてあつらん

鏡山 松をたれう松の松とてあつらん

唐湊 月圓のち松の松とてあつらん

将府原 花の比松の松とてあつらん

加佐山 立きふたのち松の松とてあつらん

淀 河津初歩 与

村野杜官代
神木思孫着

川山山官着
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

松の松
松の松

古田 花うり古田里小松の松とてあつらん

古野 吉野山より松の松とてあつらん

宜寸河 ちあつらん松の松とてあつらん

周可池 ちあつらん松の松とてあつらん

横野堤 善ゆり松の松とてあつらん

吉身里 翠の松の松とてあつらん

横山 明く松の松とてあつらん

淀継橋 淀の中松の松とてあつらん

夜寒里 ちあつらん松の松とてあつらん

喚續濱 ちあつらん松の松とてあつらん

呼坂 ちあつらん松の松とてあつらん

▲里村植田
刈りて編

▲入江内海水
天羽衣月細
ありのりく香

▲洞岩鶴山
花枝月水真

▲紫多代の秋
菊乃花

▲旅船人月
石巻河系

▲菅根一花
菅乃花

▲備日みく船
月日

▲八重立半花
ころ芳山際

▲若原秋蛛
今宵下物

▲赤里川原
あまの早稲衣

▲寺法流河津
雄蟬やもひ心

▲社宮神川子規
山枝音目下

▲平子名
山川原杜夜去

▲山野尾上官
お茶月乃河

▲山嶺杜官河原
林里花音

▲一日ふふ交系
月乃乃世色

▲昔月

▲春雨月秋凡
あはれとけぬ

▲橋作保姫鹿
子奴の葉神背

▲立田山
五月毎

近
吉田 他田のうら田里にほたるの民もさきさるる世れ徳

余古浦 風吹かすうら山に重なる月ひくさるる世れ徳

横河 さらさらひく水の月影もかきまをれくう山は

吉水里 吉あふ里をたぐれ咲や紫万代の海のうら菊

夜中浪 更さほよりの海を初舟のちかふ出らるる月

横田山 山田法も木茂さ海緑かれそ秋や初州

横野 廣るるに那れ葉咲ひもさるる月さそ秋

吉野 花さすこ吉神宮のまぬ人さるる月さそ秋

能野 古を思ひさるる月さるる月さるる月

太
新津津 蜘蛛のうらまはしり九重にまをさるる月津津姫

雄山 一雲さるる根風乃言れさ雄山浮世の暮もまをれ月

和 傳をさるる次の宮よ涼さを舞とあさるる杜乃下凡

立田 山乃花と立田の川乃紅葉も海で中らほるる月

園 子あふ野に花をひの神つきて暮乃終や立田らる

見山花
子同 雲とのまをさるる月さるる月さるる月

橋鳩宮 雲さるる昔さるる橋乃海乃まをれ月

高市宮 月あそ神さるる海傳雲あさるる月あそ昔さるる

玉井沼 あめさるる月のまをさるる月あそ玉井沼に神海さる

水洗宮 水あそ神さるる月のまをさるる月あそ水洗宮に神海さる

平向山 神さるる月あそ神さるる月あそ平向山に神海さる

竹原石井 夕立乃海を涼し竹原石井氷月うほるる

▲宮石舟 鹿橋
▲野 甚 西 橋 石
▲草 蒲

▲梅 花 女 郎 心
▲山 芳
▲細 川 乃 歌

▲吉 野 川 乃 歌
▲山 幸 向 橋 月
▲尾 上 松 童 女

▲離 約 橋
▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌

▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌
▲木 枯 草 乃 歌

▲宮 石 舟 鹿 橋
▲野 甚 西 橋 石
▲草 蒲

▲梅 花 女 郎 心
▲山 芳
▲細 川 乃 歌

▲吉 野 川 乃 歌
▲山 幸 向 橋 月
▲尾 上 松 童 女

▲離 約 橋
▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌

▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌
▲木 枯 草 乃 歌

▲宮 石 舟 鹿 橋
▲野 甚 西 橋 石
▲草 蒲

▲梅 花 女 郎 心
▲山 芳
▲細 川 乃 歌

▲吉 野 川 乃 歌
▲山 幸 向 橋 月
▲尾 上 松 童 女

▲離 約 橋
▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌

▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌
▲木 枯 草 乃 歌

▲宮 石 舟 鹿 橋
▲野 甚 西 橋 石
▲草 蒲

▲梅 花 女 郎 心
▲山 芳
▲細 川 乃 歌

▲吉 野 川 乃 歌
▲山 幸 向 橋 月
▲尾 上 松 童 女

▲離 約 橋
▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌

▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌
▲木 枯 草 乃 歌

▲宮 石 舟 鹿 橋
▲野 甚 西 橋 石
▲草 蒲

▲梅 花 女 郎 心
▲山 芳
▲細 川 乃 歌

▲吉 野 川 乃 歌
▲山 幸 向 橋 月
▲尾 上 松 童 女

▲離 約 橋
▲里 時 多 抄 夜 月
▲秋 初 月 乃 歌

絶乃池 吹風乃きき 釣を舟出のきも 絶乃の池や氷とらん

多能武池 多ん年をものじり池あぢあぢとせき 根やあぢん

竹原山 葉之あぢあぢ原山がらんとも 葉おん分のうづり

多武山 乃心乃心とよむは花月まかろく せむれ山芳

太麻良野 舟枕の舟人の釣を深き水月別た多武山

多藝津河 舟事と山と小舟の流は流つ河内の絶乃流きと

珠城宮 咲花よあぢいともしむさう 珠城の宮れつあぢい云

橘寺 昔もあぢいで香も白むら 橘のちんたて孫と

玉田横野 霧つら玉田横野の釣もよもよもあぢいあぢい葉

了安 仲約山海每流り秋風の吹まば音もさやせり

玉横野 唐小河りてふ山みあぢい小玉のちんたて葉村のあ

田表崎 鳴海の田表乃り東も白書けりたはれ流りく連て

玉河 舟心のころあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

玉江 求えあぢい乃り流し海もよもよもあぢいあぢいあぢい

太刀造江 去るあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

直越 名うらけあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

玉出氷 暑もれ玉出氷と流のあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

誰其杜 今うあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

了演 仲約の海去乃釣とる舟の漕ゆり幾をなとも流はる演

滝原 山娘れくせは布あぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

竹屋里 う花うらけあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢいあぢい

△鹿若早苗
△壘壘舟吉
△足柄山 尻
△花乃若七
△君小町ん

△貝子もの
△系牧を飯屋
△芳萩麻房
△藤人お兼
△下巻
△望初乃凡
△望垣柘の
△望網布

△望津白浪
△望おまさん
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△望おとせ
△望おとせ

△此とて下り

△竹那郡 玉乃流

△昔の乗 鶴

△此の昔人村

△月夜 水

△松の緑 改

△年とて 左

△郭とて 左

△世田 左

△月夜 水

△神堂 入

△真砂 乃 令

△将人 雉子

田海河 流津津流名は流るるも川もたたりと海にぞん

頼里 ちをさりれ契あり其信濃の山ありて

多野 野々たれも入り世は萬の世ありて

玉造 山名のもてて夜をんし次を今乃玉造にちり

武隈 ちをさりて我も齡武隈のちをさりて

白根 根山をさりて思ひあたりて

玉川 ちをさりて思ひあたりて

玉江 ちをさりて思ひあたりて

竹泊 ちをさりて思ひあたりて

武中 國符告やん契もさりて

竹浦 竹の浦ちをさりて

高倉山 君成にちをさりて

竹嶋 ちをさりて思ひあたりて

△若の舟 板

△少の川 石

△及の 石

△此の左 郭

△早の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

△此の 田

意姫 世をさりて思ひあたりて

立山 ちをさりて思ひあたりて

多古 浦ちをさりて思ひあたりて

多之 浦ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

高回 山ちをさりて思ひあたりて

△山にむ言浦翁
△月あきふね名
△昔田原翁
△離おのり月
△あきつ月
△登壇月

△遠き
△橋花柳松
△月並乃同
△用如松の戸
△う野の奥
△あし人

△とらう船
△梶つら
△川松浦流
△五月松舟
△六月松舟
△流のの衣
△雲わく

△天のひき
△あけ村松
△紅葉玉座
△市松上方山
△松松松松
△入海松松の

△房とらえ
△あし人

△お旅衣
△花去腰
△紅葉松
△あし人

△山伏屋
△あし人
△あし人
△あし人

△あし人
△あし人
△あし人
△あし人

△あし人
△あし人
△あし人
△あし人

玉津嶋 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

玉浦 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

平徳渡 道き塩風をいれあし人の徳の渡はあし人

高野山 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

玉川 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

玉海 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

橋小六 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

千穂嶽 天流る神の昔の流るいりし由姫

竹妻浦 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

高杉山 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

礼

蓮臺野 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

言

油河原 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

神振山 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

神師浦 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

曾乃原 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

素親渡 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

神浦 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

副山 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

神師浦 月をいれあし人あし人浦小をうをいりし由姫

△岸 螢の葉
漁火 藍の川

△原 官里 屋
梅 郭の
宇治の 後

△梅乃 希 花
△ひし づら ね

△八十の ちまこ
△ひし づら ね

△く 化を 系
△大 船 佐 江 納川
△月 松 月 夜 宿
△花 名 野 逆 火
△山 古 し 女
△魚 芳 水
△山 口 を ね じ
△八 社 卯 花
△三 の 山 名

△く 化を 系

△大 船 佐 江 納川

△月 松 月 夜 宿

△花 名 野 逆 火

△山 古 し 女

△魚 芳 水

△山 口 を ね じ

△八 社 卯 花

△三 の 山 名

△く 化を 系

△大 船 佐 江 納川

△月 松 月 夜 宿

△花 名 野 逆 火

△山 古 し 女

△魚 芳 水

△山 口 を ね じ

△八 社 卯 花

津川 津川を流る神をまよはせし花のりるあはるるを

津 津川を流る神をまよはせし花のりるあはるるを

山城 津川を流る神をまよはせし花のりるあはるるを

月橋 月の橋乃ち山より下りてさきさきと照らするを

月林 晴る夜の月を照らする月の新れは乃ち白き

海石橋市 舟をぬ人の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

釵池 舟をぬ人の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

津守浦 津守浦の津守りし舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

南松原 南松原の角の松原を流るる舟八十のちまこを夕折し

津園維 津園維の舟の舟と船の舟の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

拓原山 拓原山の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

月讀官 月讀官の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

津嶋渡 舟をぬ人の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

霧岡 霧岡の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

於筑原 於筑原の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

筑麻河 筑麻河の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

筑波 筑波の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

説馬野 説馬野の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

月出湯 月出湯の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

月吉里 月吉里の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

臺碑 臺碑の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

山楯岳 山楯岳の舟を流るる舟八十のちまこを夕折し

△鴻以

△野老 気う

△山越 岩陰道

△道門 玉あ

△小蝶 石あ

△あの一とあ代

△あつ 里火

△堂 五月五日

△月 月入り

△芦 名の田霧

△大 和流乃

△山 川あつ

△あさ 舟人 梳

△鈴 舌 舌指

△我 意 心とく

△時 考 麻袋の男

△梅 東海

△海 人

△目 志 茶

△萱 草 つ

△松 花 月

露 鴻

津 桂 鴻

敦 賀

角 鴻

机 鴻

敦 山

敦 寺

津 田 細 川

弦 打 山

津 尾 鴻

幾 世 小 鴻

露 鴻の 露の 露の 露の 露の 露の 露の 露の 露の 露の 露の

津 桂 鴻の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の

敦 賀の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の

角 鴻の 角の 角の 角の 角の 角の 角の 角の 角の 角の 角の

机 鴻の 机の 机の 机の 机の 机の 机の 机の 机の 机の 机の

敦 山の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の

敦 寺の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の

津 田 細 川の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の

弦 打 山の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の 弦の

津 尾 鴻の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の

幾 世 小 鴻の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の 幾の

敦 洲

村 子 渡

於 武 野

津 井 渡

山 嶺

根 草 浦

子 日 倚

眠 森

飯 岡

飯 岡

敦 洲の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の 敦の

村 子 渡の 村の 村の 村の 村の 村の 村の 村の 村の 村の 村の

於 武 野の 於の 於の 於の 於の 於の 於の 於の 於の 於の 於の

津 井 渡の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の 津の

山 嶺の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の 山の

根 草 浦の 根の 根の 根の 根の 根の 根の 根の 根の 根の 根の

子 日 倚の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の 子の

眠 森の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の 眠の

飯 岡の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の

飯 岡の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の 飯の

里海田了
鴨居橋

川尖々々々
思乃西川月

柳月露
漫去風

鹿橋并郊
十六洋菊月

衣子 去香

山八塩深
山葉 山美

山越里
金橋梅并石

吉野松并
川後鴨月氷

渡子秋
刈萱言

海田 去
かひまらる

彈 郭云
時為紅葉

渡茅麻月
あがら

長岡 昔も秋の國つれをよめてとをさそく昔をと思ふ

鳴瀬 於て心うつふ多う流る西の川後多りゆりかち

井池 人をみ小びくし池のせう世もさういふとらふん

中川 終ふかとうせがうむ絶のたふさく思ふ中川の水

名木河 花咲人共ぬる衣のぬわるともがさうあまの心

長谷川 秋の葉の長谷山照月桂も折るさ嵐のあま

奈良 任持かこれたる古くよはきてあつれ月の新

夏箕河 山流る風やうらんま川ゆりぬ方一都を鳴

那良志 無刃てを根をゆりゆりまよき毎いあられ思の橋

中山 とう成我中山のあくひ小庵の衣角を果

祭志原 郭云勢ゆるいあし原むむやあつと流せり

浪柴野 妹来れ小庵のあり後茅茶たふめあひはたの遊

宮世杜松
柳花松

梅江浦戸津路
梅并九倉堂

松原他行吉
ふ多鶴松并

橋原泊浦碧
あめ三橋江

浦里泊麻街
松月寺抄衣

海紅葉 肘飯
造り片泥の

河内山 板玉造
住吉紅葉夕涼

浦春風 若屋
横釣并松蜜

つらさうゆ
あつた

作勢海 浪草
いふ紅丸本橋

小野 湊若波
くさる蜜和

厚浦里 海流
庭の草月寄

あつた
あつた

波敵 柳花絶てをさそく昔をと思ふ

難波 けり若乃枯てと風乱ぬ新波入にやあつらん

長居浦 いゆりも月行吉の浦のあけを居て元祖の海

長柄山 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

鳴尾 妹ちうく鳴尾をれ浦の松風は折れさうあつた

縄乃浦 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

名越世 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

灘田 いと海を思ふ難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

名立浦 今更小あつた思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

後河 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

流江 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

成海 思ひか難波の事と津の玉あつらん果んは世あ

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

△系三河の島
ありて花

名子浦 かしらぬがしきもそそをいふ名子の浦より流る

鳴澤 我思ひしとてくくとくせぬ一うらひはかありせぬ

奈苗加海 けの中へふふふふふふふふふふふふふふふふ

奈佐可海 神とや孫そふ孫の情ありあさるの浦にまの月

梅子山 花はあめ老のんや入たる夕日ひめはあさる一れ山

七社 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長等 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長峯山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

連庫山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

七久理湯 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名取川 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

奈古 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長演 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

奈曾白橋 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長演浦 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

奈古 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長演 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長尾宮 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

鳴澤 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長等河 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

鳴門 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

長門浦 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

哭沢 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

名草山 移りて七乃神壇海より移りて七乃神壇海より移りて

△山嶽はる根
花月三盛
花月三盛
花月三盛

△名とくの人

△浦蟹取水鶏
古他海子
沙凡具は元
△梅六月山核
△梅子香

△我意乃
△浦屋令
△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

△名とくの人

那智 此のこゝに流るる水は山をたゞりて

七越嶺 物の夜乃ててもまき月影の今を

鳴門 鳴耶漢の言小孫とてあくるは

名越山 鳴りてくるとは浦を漕舟

名見山 旅衣くくはあつたはる

浪懸岸 我神あや死中をよは

名欲山 何せん世にわたり山

七瀬 うほは草乃枯葉は

梅宮 咲むるは花をさる梅乃

紫野 子目する世に世の如小

梅原 梅の原や盛ちりて

馬咋山 浅緑春乃る葉

向日山 あれつるは乃神

六田 六月毎六田入は

牟呂山 梅ふゆりる

向畧 入山とて思ふは

武蔵野 友来ては公家

武蔵嶺 野をふては

梅原山 春は花の月乃

吾勤寺 天衣とてあ

席田 年をうつる

▲大野 山幸丸
 ▲麻月 雄吉
 ▲島崎 宗列 男
 ▲長谷川 宗光
 ▲河原 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲三浦 宗光
 ▲佐々木 宗光
 ▲田中 宗光
 ▲山崎 宗光
 ▲斎藤 宗光
 ▲新井 宗光
 ▲横井 宗光
 ▲鈴木 宗光
 ▲高橋 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光

宇陀野 在上 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野 宇陀野
 内乃大野 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 吹次山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 占平山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇野 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 上野 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 後山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 浦初崎 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 内外宮 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 浮崎山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇治山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 有度溪 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に

▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光
 ▲山本 宗光
 ▲佐藤 宗光
 ▲松本 宗光
 ▲石川 宗光
 ▲尾花 宗光
 ▲藤井 宗光

浮嶋原 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇津山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇麻具多 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 海上原 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 打出原 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇麻野 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 碓氷山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 浮嶋 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 弁花山 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 袴坂川 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 宇奈川河 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に
 内海 吹風の俣よとく 秋風の内乃大野の花に

よしの湯

天北橋立

蛸の湯

紀の湯

湊

魚

打山

鶴濱

深河

産官

空穂

浦野

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

我立

下乃

秋の月

秋

内外淡 橋立の湯 乃世絶 内町の淡 此は湯

湯池 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

浦初鴻 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

宇和郡 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

打山 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

鶴濱 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

深河 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

産官 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

空穂 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

浦野 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶 乃世絶

▲之形妹
▲近江流旅人
▲月等京話
▲流橋時女言

▲流津水
▲流道友言
▲秋月月抄
▲村石の栗

▲里辰言
▲東海初言
▲八上二橋川
▲友二松川

▲月旅花言
▲流去いさ火
▲去乃日月抄

▲宿野の歩
▲女郎花月
▲草高の老枯

▲岩代言
▲泊中清言
▲流川浦舟

▲里若小舟
▲採衣うせ貝
▲お虫の言
▲お虫の言
▲お虫の言

▲振島山華
▲梨月
▲お虫の言

▲井せきうん
▲螢子言
▲月花後言
▲蛇言
▲月水言

▲採乃花言
▲老せの言
▲山里市言
▲山里市言
▲山里市言

▲野杜里皇
▲交系言
▲大原麻月
▲大原麻月
▲大原麻月

▲大原麻月
▲大原麻月
▲大原麻月
▲大原麻月
▲大原麻月

能登津川水舟かゝる波をさぬまひる古川内を宗らるる

野路 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

能登津河乃と世川流を流すまひる月を影もさぬ風乃と波

野鴻 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

野上 起出の野上乃葉葉の葉葉乃宗らるる宗らるる

野田 今よりとあう女高みらるるの舟高乃葉葉や宗らるる

流津山 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

能中海 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

能義那 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

野中流氷 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

野中清氷 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

能解浦 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

野中杜 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大内山 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大井川 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大沢 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

男山 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大原 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大原 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大原 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大原 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

大原 舟高をさる舟高乃葉葉や宗らるる宗らるる

移のわろ思
ふもえさ
かたき
お葉の移
人ともお

時ち移衣月
賤の女
あけり
君海り

生野震云
松月之
あけり
松月之

又月名
松月之
松月之

荒き砂船
林松花舟
松月之

又月名
松月之
松月之

音の海
月蛇漢火船
神小渡百舟

子規の時
山三笠の杜
あけり

あけり
あけり

あけり
あけり

あけり
あけり

あけり
あけり

奥海 移りて人一人をわろ思ふ海舟とててと底と云ふ

奥井 石の移りてと奥の井の浅きえさりと思ひてらん

起居里 河を移りてと奥の井の浅きえさりと思ひてらん

大野海 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大江山 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大芋河 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大山 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

飯字海 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大鴻 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大鴻 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大鴻 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

大鴻 山月 山月 山月 山月 山月 山月 山月

山花五月毎
月花葉を結

近江てふ

むと玉白ぬ

考推山妻林
月さゆく歌

中しりてふ

おしりてふ

山花五月毎

志葉多吉

おのりてふ

安達原鬼終

天乃河原

相水

朽木松 花月 花さるゝわらわら朽木乃多しとらるゝをさるゝを花の月

栗平里 考多志 契てもよんをさるゝあさひのれれく系乃りしり

黒田河 考多志 五月毎ありあつるをさるゝ海を乃海とさるゝり

位山 考多志 位山麓もゆりてをさるゝめて花咲あつるをさるゝり

久米路橋 定ちれ世を渡りしありあつるは橋を虫かむ

群馬里 上野 ぶんの新り夜中と吉あつるをさるゝ海の里とらるゝ

黒髪山 下野 ちりめあつる昔と遠く世にさるゝ山乃りさるゝり

栗拍山 陸奥 小男麻の事と共さるゝむりて海山の海乃りさるゝり

栗原 日 ちりてあつるさるゝりあつるをさるゝり

黒塚 日 思ふてあつるさるゝりあつるをさるゝり

雲浜 日 新まの空の海もさるゝりあつるをさるゝり

黒戸橋 日 契ても人の心はさるゝりあつるをさるゝり

久毛津 日 於朗沖乃浪さるゝりあつるをさるゝり

熊来 日 浪の上よさるゝりあつるをさるゝり

雲田村 日 風さるゝり中田の村乃海乃りあつるをさるゝり

和村 日 里乃りもさるゝりあつるをさるゝり

倉崎山 日 夕園れつる川乃海乃りあつるをさるゝり

隈用 日 新あつる我海乃りあつるをさるゝり

久米在食山 日 さるゝりあつるをさるゝり

口五伯 日 於思乃海乃りあつるをさるゝり

黒牛浜 日 ちり半乃海もさるゝりあつるをさるゝり

熊野 日 ちりあつる人の心乃りあつるをさるゝり

倉田浜 日 ちりあつる早苗と和しあつるをさるゝり

朽綱山 日 ちりあつる神乃りあつるをさるゝり

山花五月毎
月花葉を結
近江てふ
むと玉白ぬ
考推山妻林
月さゆく歌
中しりてふ
おしりてふ
山花五月毎
志葉多吉
おのりてふ
安達原鬼終
天乃河原
相水

林藤の舟人

未勅
久麻山号の散くすし本系の流れを伝ふ所なり月乃之山嶽

續松葉集第一終 六字堂 宗惠

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 久麻山号 and 宗惠]

